

1 開会

2 報告

(1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

① 本市における発生件数等

資料1

② 県、市の月別発生状況の推移

〃

③ 全国、県、市の発生状況

資料2

④ 県、市の直近1週間の新規患者数（対人口10万人）

資料3

⑤ 県の療養者数の推移

資料4

⑥ 市の患者の年代別割合

資料5

⑦ 保健所長の見解

資料6

⑧ 第7波への市の対応

資料7

(2) 岩手県等における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について

別紙

3 その他

4 本部長指示

5 閉会

2 報告

(1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

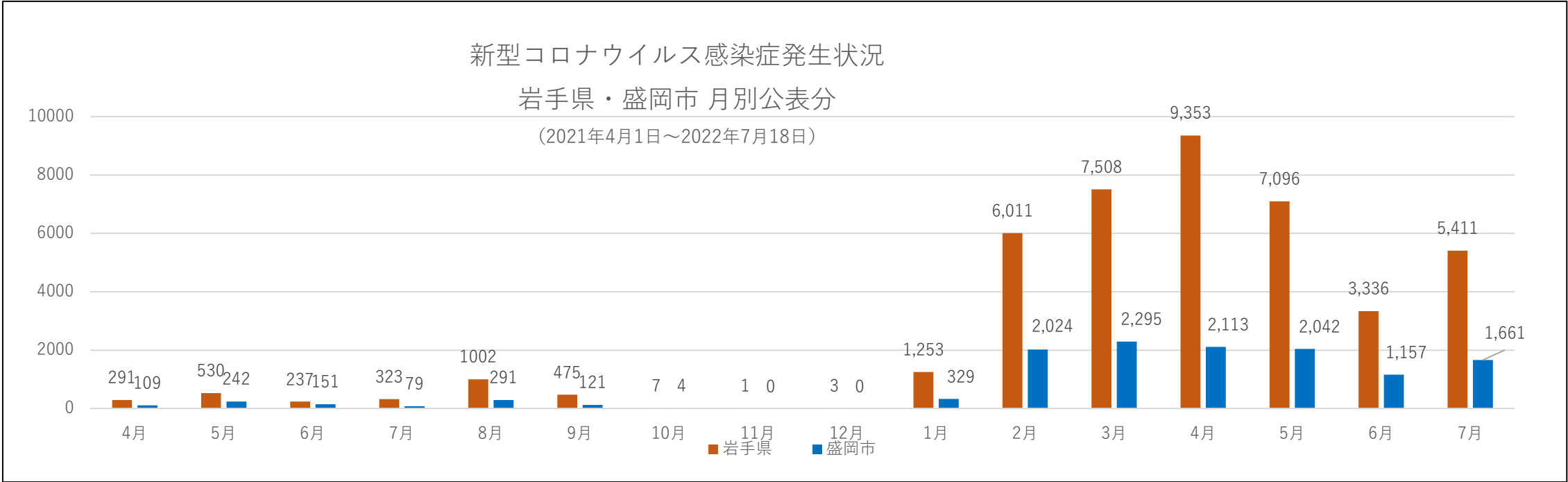
資料1

① 本市における発生数等 (人、7月18日時点)

| 陽性者数<br>(累計) | 入院治療等を要する数 |      | 自宅療養者数 | 退院又は療養解除者数<br>(累計) | 死亡者数<br>(累計) |
|--------------|------------|------|--------|--------------------|--------------|
|              |            | 重症者数 |        |                    |              |
| 12,844       | 34         | 0    | 1,136  | 11,605             | 32           |

② 県、市の月別発生状況の推移  
新型コロナウイルス感染症発生状況 岩手県・盛岡市月別公表分

令和4年(2022)1月初旬からオミクロン株による患者が増加してきた。  
6月には減少してきたが、7月第2週から増加傾向にある。



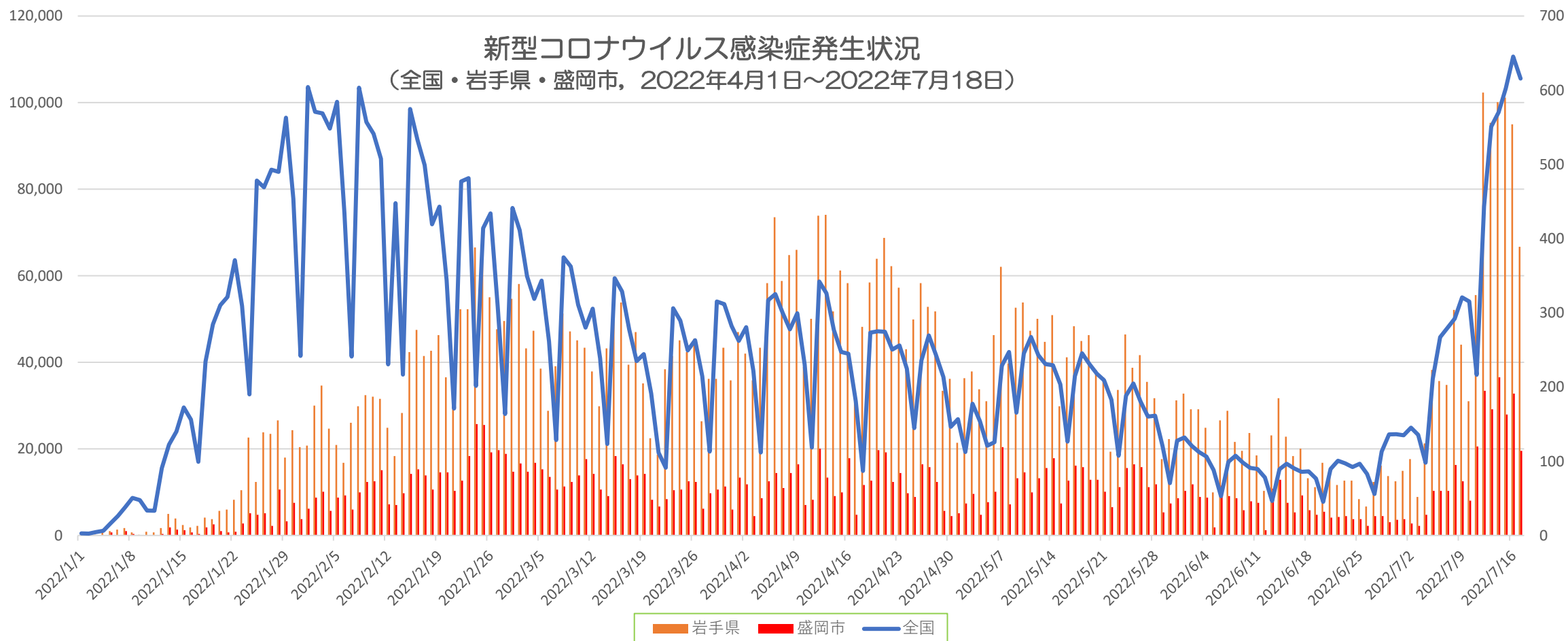
## 2 報告

### (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料2

#### ③ 全国、県、市の発生状況

令和4年(2022)の日単位の比較では、岩手県は、全国と約2週間程度遅れた時間差で感染の流行が見られる。全国の都市部の流行状況から、今後、7月下旬にかけて感染者数が増加する傾向が予測できる。



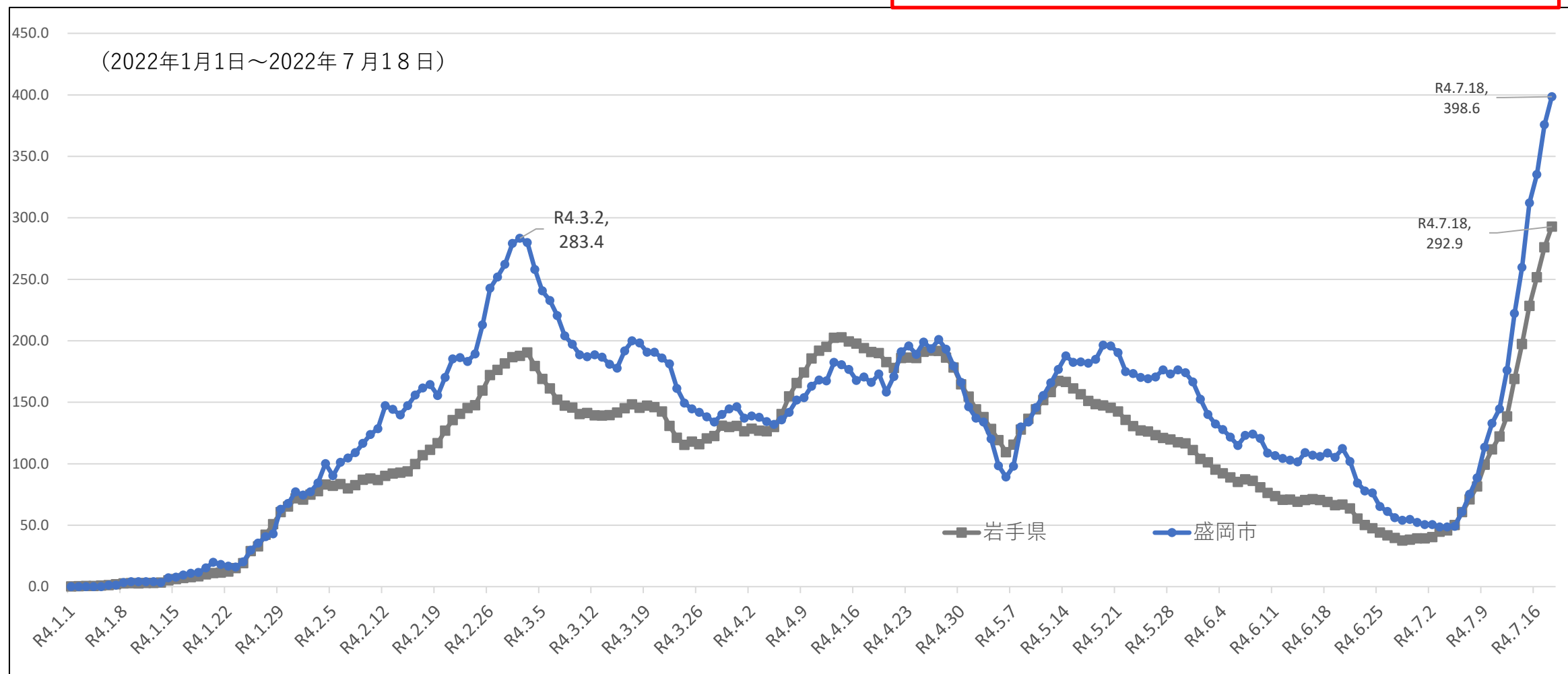
## 2 報告

### (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料3

#### ④ 県、市の直近1週間の新規患者数（対人口10万人）

1週間あたりの対人口10万人の感染者数であり、資料1-2の、日単位の感染者数の比較では10-20人程度の増減でもグラフが大きく変動するため、大きな傾向を把握するためのグラフとなる。



## 2 報告

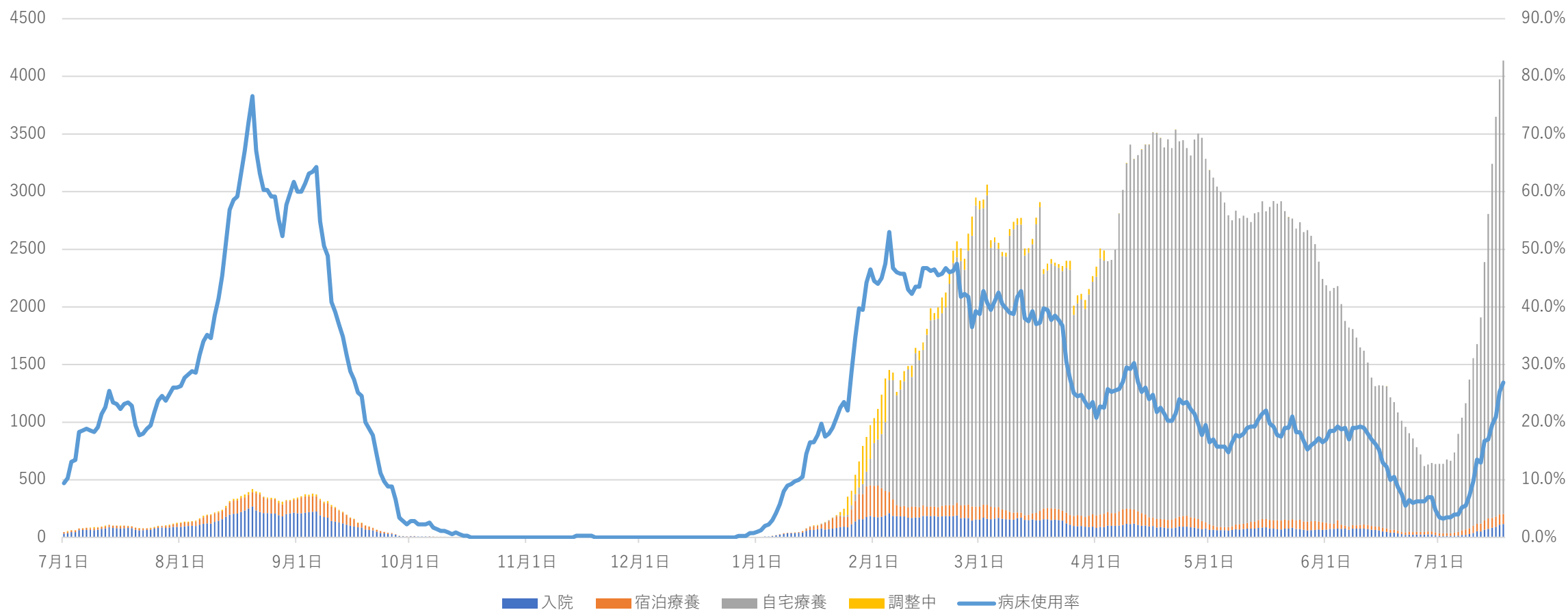
### (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料4

#### ⑤ 県の療養者数の推移

岩手県の療養者数等の推移  
(2021年8月2日～2022年7月18日)

令和4年(2022)1月以降は、オミクロン株の特徴から、軽症者の割合が高く、自宅療養者が圧倒的に多くを占めている。現在もその傾向が続いている。



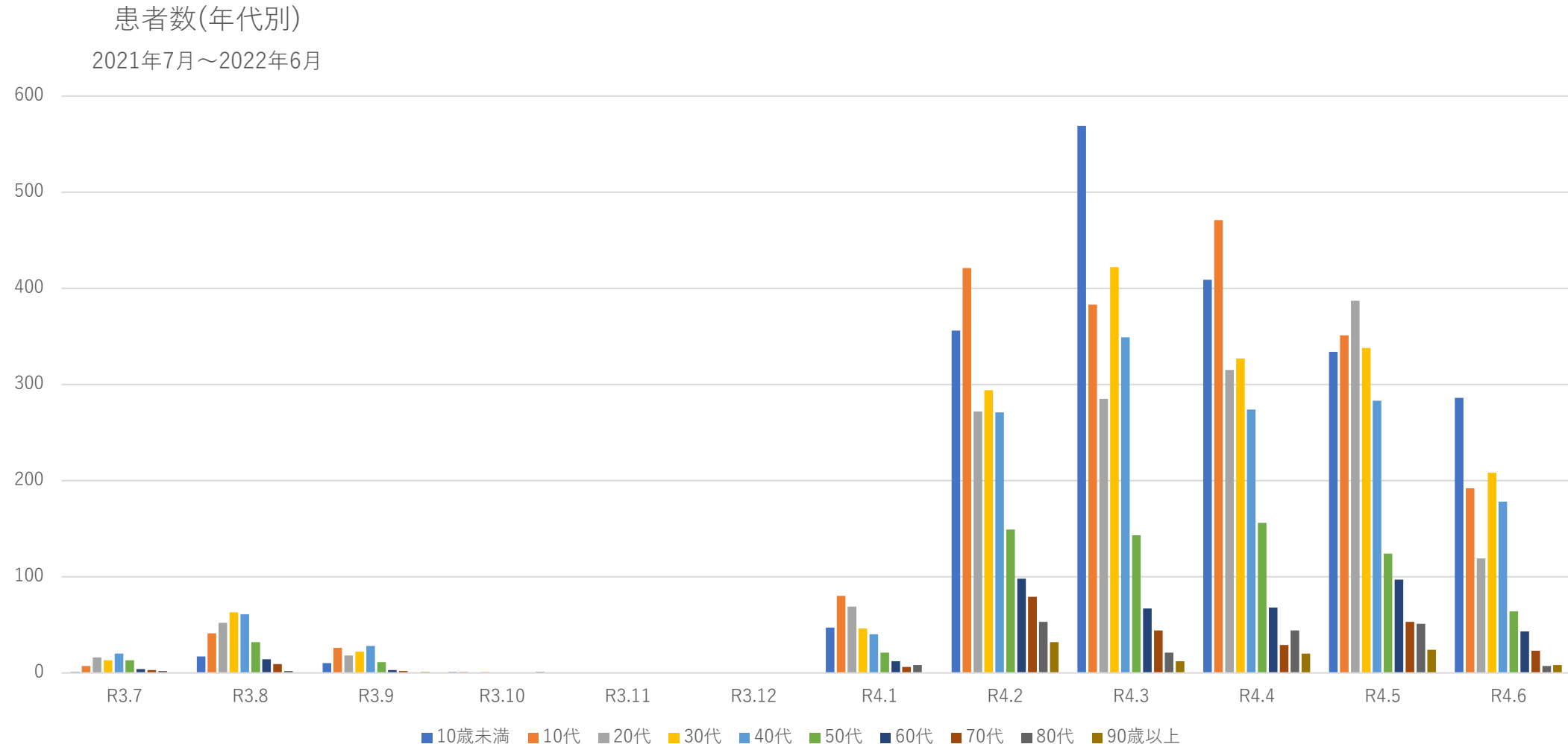
## 2 報告

### (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料5

#### ⑥ 市の患者の年代別割合

第6波では感染の始まりから、第5波と比較して10代までの陽性者の占める割合が高く、持続している。



## 2 報告

### (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料6

#### ⑦ 保健所長の見解

感染者数は全国的に増加傾向にあり、岩手も例外ではない。この背景には、①ワクチン接種3回目や感染から時間が経過し獲得された免疫（特に感染予防効果）が徐々に減衰していること、②社会経済活動の活発化により接触の機会が増えていること、③オミクロン株の新たな系統（BA.5）への置き換わりが進んでいること、などが寄与していると考えられることから、今後7～8月にかけて感染者数はさらに増加、あるいは高止まりする可能性が高い。

BA.5（BA.4）への置き換わりは各国で進んでいることから、これまでの系統より感染が広がりやすいことが示唆される一方、明らかに重症化率が高まっていることを示すデータはない。

感染者数の著増を許せば重症者数も必然的に増えることから（第6波では致死率こそ過去最低だが死者数は過去最多）、推奨回数のワクチン接種を受けるとともに、改めて基本的な感染防止対策（手洗い・マスク・3密＋大声の回避）の確認と実施が肝要である。

当面、新型コロナウイルス感染症がなくなることは考えにくく、いつ、誰もが感染しうる状況が続くことから、各人・各場においては普段より感染を広げにくいよう対策をとるとともに、感染が確認された時は速やかに拡大防止策をとることができるようにし、流行の制御と社会経済活動の両立を模索していく必要がある。

## 2 報告

### (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料7

#### ⑧ 第7波への市の対応

本市においては、7月第2週から感染者数が増加してきており、オミクロン株の新たな系統（B A. 5）への置き換わりが進むことにより、今後7月～8月にかけて感染が再拡大する可能性が高い。

一方で、現時点で県全体では重症者が少なく、医療体制の負荷の目安となる県内の確保病床の使用率から医療はひっ迫の状態にないと判断される。また、感染状況を踏まえた、感染防止対策等の保健所長の見解から、第7波に向けた市の対応については次のとおりとする。

- 1 基本的感染対策の徹底の呼びかけ
- 2 ワクチン接種の推奨
- 3 誰もが感染しうる状況であり、行動制限を行うことによる感染抑制効果は限定的なものであるため、市独自に一律な移動や外出等の制限は行わないこととする。
- 4 感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る必要がある。
- 5 各部等のイベント等の事業の実施に当たっては、国が示すマスク着用を含む基本的感染対策を徹底する。

なお、各事業における現場での具体的な対応については、各部等において適切に判断するものとする。



## 2 報告

### (2) 岩手県等における新型コロナウイルス感染症の発生状況について

|                                 |       |   |    |
|---------------------------------|-------|---|----|
| ① 県内の患者の発生状況等について               | 資料1-3 | } | 別紙 |
| ② 全国の患者の発生状況等について               | 〃     |   |    |
| ③ 感染の状況や医療ひっ迫の状況等を評価するための指標について | 〃     |   |    |
| ④ 主な指標の状況について                   | 〃     |   |    |
| ⑤ 新型コロナウイルス感染症患者に係るゲノム解析結果について  | 資料1-4 | } |    |
| ⑥ 新型コロナウイルス感染症に係る病床確保計画について     | 資料2-1 |   |    |